



日本初の小学校教諭免許が
取得できる通信制短期大学

〔男女共学〕

小学校教諭二種免許状
幼稚園教諭二種免許状

准学校心理士

幼児体育指導員初級

キャンパスインストラクター

児童厚生二級指導員

レクリエーション・インストラクター

秘書士

鎌倉女子大学短期大学部
初等教育学科 通信教育課程

e-learning course

2027 入学案内／学生募集要項

遠隔地からはオンラインで、 鎌倉では対面授業と歴史探訪を！

古来、パンデミックがその後の文明の様相を大きく変えていったことは、歴史が教えるところです。COVID-19 pandemicは、私たちのコミュニケーションの形式にも大きな変革をもたらし、政府や自治体でも、企業や団体でも、そして教育の場でもオンラインでの情報交換が常態化し、その有効性を誰もが体験することになりました。

鎌倉女子大学e-Learning Centerは、本学短期大学部初等教育学科e-learning course(2年課程／男女共学)で短期大学士を始め、各種免許・資格の取得を可能とする、通信教育には最適な2ヵ年という就学プログラムを用意しました。この課程では、世界中どこにいても、いながらにしてオンライン、オンデマンドで授業に参加することが出来ますし、繰り返し視聴することも出来ますし、Zoomによる指導を受けることも出来ます。

既就学者のキャリアは、実にバラエティーに富み、世代・職歴・学歴等、それぞれに個性的です。居住される地域も、離島を含む北は北海道から南は沖縄県まで。それに止まらず、海外からの入学希望の問い合わせもいただいています。異なる経験をし、異なる情報をお持ちの皆さん、このe-learning courseに参加し、大いに交流し合い、お互いに刺激し合い、それぞれに所期の希望を実現していきましょう。

履修科目によりますが、鎌倉女子大学大船キャンパスの教室で対面授業を聴くことが出来る機会も作りました。東山という森を背に緑の芝生が広がる大船キャンパスは、日本でも最も美しい大学キャンパスの1つと自負しています。

しかも、電車で東京駅から42分、新宿駅から43分、小田原駅から32分、新横浜駅から横浜駅経由で乗車時間は27分の大船駅は、東海道線、横須賀線、湘南新宿ライン、根岸線、湘南モノレールが集まる主要幹線のキーステーションです。なお、リムジンバスで羽田空港から横浜駅には30分前後で出ることが出来ます。

また、湘南電車で1駅行った北鎌倉の建長寺、円覚寺、西田幾多郎、和辻哲郎、鈴木大拙、小林秀雄、野上弥生子、前田青邨といった学者や文人、芸術家が眠る東慶寺、もう1駅行った鎌倉旧市街の鶴岡八幡宮、南北朝の悲劇の皇子護長親王を祀る、新能でも有名な鎌倉宮、幕府の栄華の跡を遺す永福寺。江ノ電に乗り換えると由比ガ浜から逗子の海を見下ろせる長谷寺の高台、下には大仏様、三島由紀夫の名作『豊饒の海』(春の雪)の舞台ともなった現在の鎌倉文学館、そして稲村ヶ崎から七里ヶ浜の向こうに江ノ島と富士山を臨める相模湾。

授業は元より、先生方や仲間との交流、そして鎌倉探索と、どうぞ盛り豊かな学生生活をお送り下さることを願っています。



学長 福井 一光

一人一人の人生にあった「真(本当)の学び」を 追求する新しい大学のカタチを実感！

2025年4月、鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程(e-learning course)がスタートしました。開設年度最初の入学者たちは、働きながら学ぶ現役社会人の方々、専門学校に在籍しながらダブルスクールで学ぶ方々、人生や社会経験を糧にして、キャリアアップ、キャリアチェンジ、リスキリングのために学ぶ方などそのキャリアは非常に多彩です。

入学希望理由書には、数ある大学の中で、なぜ本学のe-learningコースを選んだのかという理由、また、この大学で何をしたいのかという目的について、それぞれがご自身の人生経験と向き合ったインパクトのあるメッセージを掲げ、これからの時代を支えるべく教職を目指す意気込みに溢れています。

かつて大学教育は、最終学歴を修める高等教育という役割に代表されていましたが、これからの「人生100年時代」を生きる私たちにとって、一人一人の人生に相応した「真(本当)の学び」を深める大学教育の価値やその在り方に注目し、学歴を自らデザインする時代になっていくのではないのでしょうか。学生達との交流会(ピアツア)では、何れの学生も、大学で学ぶ価値を自ら主体的に見いだすフロンティアであることを確信致しました。

全国各地から、この大学での「新しい学びのカタチ(e-learning course)」に期待が寄せられています。

どうぞ、この大学での2年間を、充実した「真(本当)の学び」を追求する2年間にしてください。学ぶことの魅力を誰よりも自分自身で実感してください。

私たち教職員は、皆さんの熱意ある主体的な学修姿勢に敬意を払い、全面的にサポートして参ります。



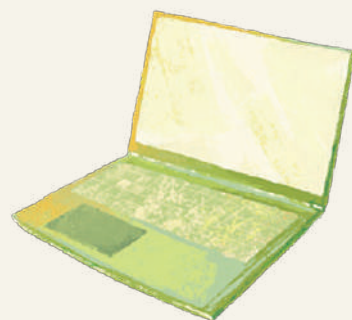
短期大学部学部長 小泉 裕子

CONTENTS

01 MESSAGE	12 入学者紹介制度のご案内・ 入学者データ(2026年度)	24 2027学生募集要項 アドミッションポリシー	29 選考結果発表 入学手続・学費等
03 通信教育課程の特長			
05 入学区分(男女共学) 取得可能な免許・資格	13 カリキュラム一覧	25 大学入学資格について	30 入学辞退に伴う学費等の 返還について
06 学修の流れ(正科生)	16 教職課程カリキュラム対照表	26 募集定員・入学資格等・ 出願日程・	31 募集にあたっての留意事項
07 学修方法 メディア授業/スクーリング/学外実習	18 担当教員一覧	27 出願方法・選考方法・ 入学検定料・出願書類	33 WEB出願の利用について
09 4つの学修サポート	21 よくある質問	28 必要証明書類一覧	37 WEB出願Q&A
11 在学生インタビュー			38 Access & Map

通信教育課程の特長

小学校・幼稚園教諭二種免許状が 2年間で取得できる 通信教育課程(e-learning course)



1 実学教育80年の歴史と実績で 魅力的な学びを実践

鎌倉女子大学短期大学部は、日本で最初の短期大学の一つとして開設されて以来、乳幼児期から児童期までの子どもの教育・保育に携わる専門家を養成し、歴史と実績を重ねてきました。小学校教諭・幼稚園教諭として社会で活躍する多くの卒業生を輩出しています。こうした歴史と実績を踏まえて作成する本学のオリジナルWeb動画教材を使い、魅力ある授業を、e-learningで展開します。

2 いつでも・どこでも学べ 質問や意見交換も可能

本学のe-learningシステム(LMS:学習管理システム)上で配信される授業動画を視聴し確認テストを解答するというオンデマンド学修が中心となるため、受講者の生活スタイルに合わせて学べます。授業の受講の他、授業の理解度を確認するための確認テスト、教員への質問、単位認定のための試験の受験もe-learningシステム(LMS)上で行えますので、時間や場所にとらわれず、自分のペースで学ぶことができます。



3 2年間で複数の免許・資格が取得可能

小学校教諭二種免許状・幼稚園教諭二種免許状の他、准学校心理士、児童厚生二級指導員、幼児体育指導員初級、レクリエーション・インストラクター、キャンプインストラクター、秘書士の資格を2年間で取得することが可能です。

なお、科目等履修生として、必要な科目のみを履修することもできます。



4 手厚い学修サポートで 確実なステップアップ

クラスアドバイザーや教務担当による学修支援、オンライン上での交流の場クラスピアッツァ、e-Learning Center 職員によるシステムのサポート、充実した電子コンテンツ、さらに進路に応じたキャリア支援など、あなたの学びを力強く支えます。



5 さまざまな目的を持つ 幅広い世代の同級生

2026年度の入学生は、10代から60代までと幅広く、さまざまな目的をもつ同級生と意見交換ができる点も魅力です。

教員免許状を有しながら教職経験がないベーパーティーチャー、または長期離職をしている方にとって、実践的に専門性を磨く学び直し(リスキリング)の機会にもなります。また、既に小学校や幼稚園でティーチングアシスタントや指導員として働いている方の教員免許状取得を目的とした入学も多くなっています。

※入学者データ(2026年度)の詳細は12ページをご参照ください。



入学区分(男女共学)

目的に合わせた学び方が可能です

正科生

- ・短期大学卒業と同時に免許・資格取得を目指す方
- ・学位(短期大学士)の取得を目指す方
- (例) ○現在、教員補助、保育補助、子育て支援員等 ○他職種で働きながら
○大学既卒者で ○専門学校生で ○子育てが一段落した人等

科目等履修生

- ・教員免許状取得のため、必要な科目のみ学びたい方
(学外実習、介護等体験の履修は正科生のみが対象です)
- ・関心のある科目を、1科目から自分のペースで学びたい方
- ・ペーパーティーチャーのリカレント教育として学びたい方

※それぞれに係る学費は、29-30ページをご参照ください。

取得可能な免許・資格

2年間で夢をカタチに
充実のサポートであなたを支えます

*マークのある資格は正科生のみ取得可能です。

小学校教諭二種免許状

小学校教員になるための免許状です。児童の成長を支えるために教科指導や学級活動など幅広い教育活動を行います。国語、算数、理科、社会のほか、図画工作や音楽、英語などの指導法も学びます。

幼稚園教諭二種免許状

幼稚園教員になるための免許状です。園児の自主性や社会性を育て、生活習慣や音楽・絵画などの創作活動を通して心身の発達を促します。

准学校心理士*

学校心理学の知識を活かし、子どもや保護者、教員や学校に対して、心理教育的支援を行います。准学校心理士は学校心理士に準じる資格で、学校心理士用の研修を受講することで、通常より短い期間で学校心理士試験の受験が可能となります。資格取得には教員免許状取得が必要です。

児童厚生二級指導員*

児童館や放課後児童健全育成事業で子どもに健全な遊びを提供し、心身の健康や情操の発達を支援する、地域で活躍する指導者としての資格です。資格取得には小学校教諭二種免許状または幼稚園教諭二種免許状が基礎資格となります。

幼児体育指導員初級*

幼児の発達に合った運動遊びや体操の指導法を学び、安全に体育活動を行うための資格です。保育園や幼稚園などでの指導に役立ちます。

レクリエーション・インストラクター*

公益財団法人日本レクリエーション協会が認定する、ゲームやスポーツなどのレクリエーションを指導するための公認資格です。子どもをはじめ、地域のさまざまな世代を対象とした活動を通して、こころと身体のリフレッシュができるよう促します。

キャンプインストラクター*

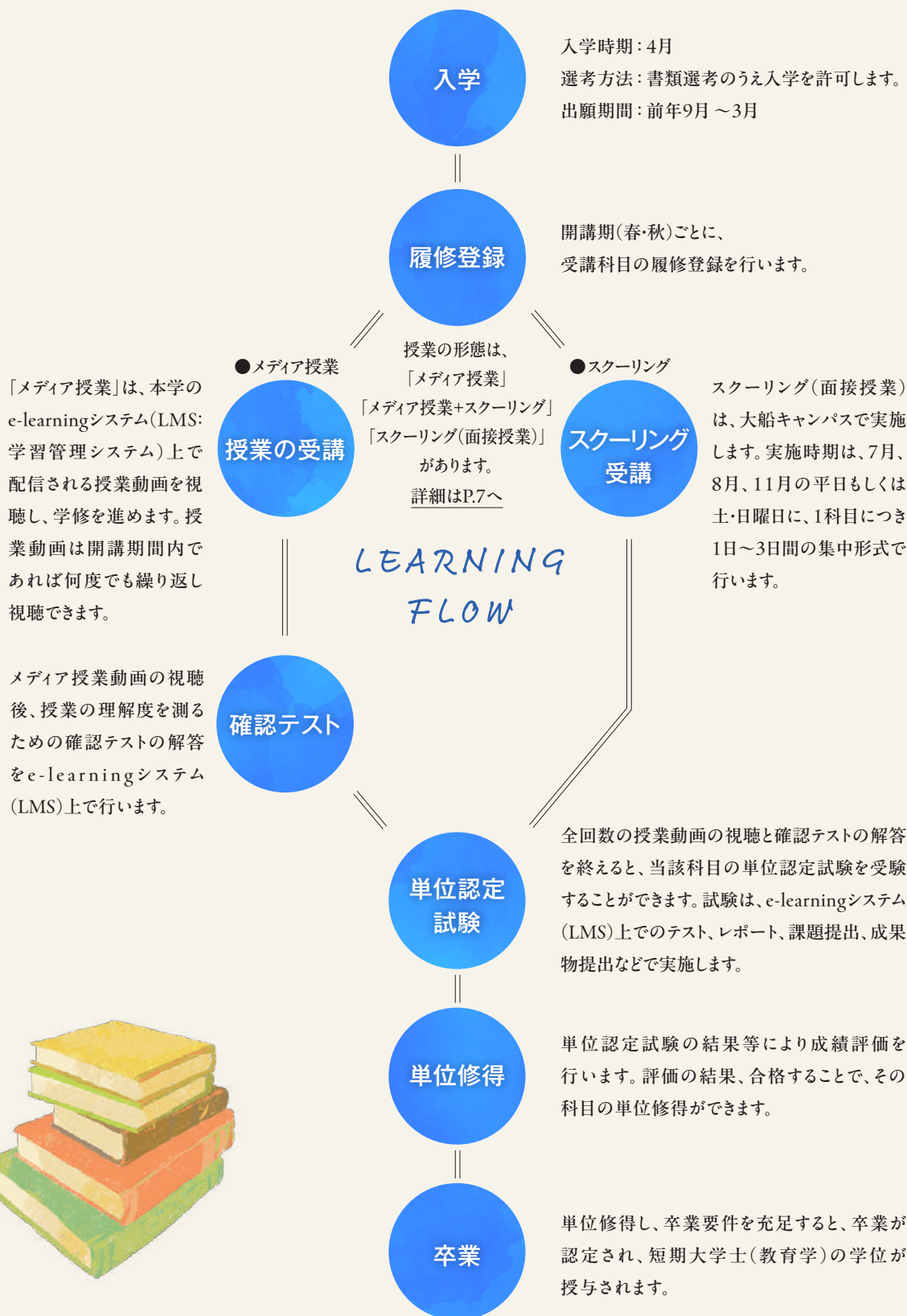
公益社団法人日本キャンプ協会が認定している資格です。総合的な自然体験であるキャンプの指導者として、キャンプの楽しさを多くの人に伝えることを目指します。

秘書士*

全国大学実務教育協会に加盟する短期大学に所属する学生が、所定の科目を履修した場合、認定される資格です。言葉遣いや接遇の仕方、日程管理、文書管理方法などビジネス社会での基本マナーや実務能力を修得できます。

学修の流れ(正科生)

質問も交流もオンラインで
仲間とともに学び、成長できます



学修方法

いつでもどこでも学べ 新しい時代に沿った学びのカタチ

本学における授業形態は次の3種類があります。

メディア授業

好きな時間に何度でも視聴可能

本学の学習はメディア授業が中心になります。メディア授業は、本学のe-learningシステム(LMS)上で配信されます。履修登録をするとメディア授業の受講が開始できます。

各科目、1回(1コマ)の授業に対して「授業動画」を視聴し、その後「確認テスト」を受験します。全回数の授業動画の視聴と確認テストの解答を終えると、当該科目の「単位認定試験」の受験が可能となります。授業動画は履修登録開始日から授業終了日まで何度でも繰り返し視聴することが可能です。



【メディア授業の体験動画】 オンラインでのメディア授業の雰囲気をぜひ体験してみてください。

幼児理解の理論と方法



音楽



図画工作



家庭



メディア授業+スクーリング

メディア授業の学びが実践力へと繋がる

メディア授業とスクーリング授業を組み合わせる授業形態であり、科目によってメディア授業の回数とスクーリングの回数は異なります。両方の授業を受講することで「単位認定試験」の受験が可能となります。

スクーリング(面接授業)

充実した施設・設備でのきめ細やかな授業

本学のスクーリングは、大船キャンパスで実施します。実施時期は、7月、8月、11月の平日もしくは土・日曜日に、1科目につき1日～3日間の集中形式で行います。授業の受講状況や単位認定試験の結果等により成績評価が行われます。

■授業科目「教育実習指導」について

スクーリングが必要な日数は選択科目により異なりますが、小学校教諭二種免許状及び幼稚園教諭二種免許状を取得する場合、11月に開講する「教育実習指導」(2日間)は本学における教育実習参加条件になっているため、当該スクーリングの履修が必須となります。

※教員免許状以外の資格取得のための授業でもスクーリングがある場合があります。



学外実習（正科生のみ）



免許・資格の取得を希望する学生は、学外での実習が必要となります。

学外実習は2年次に実施します。実習は取得を希望する免許・資格により時期や期間が異なります。

■学外実習時期・期間

免許・資格	実習種別	実習先	実習時期	期間
小学校教諭二種免許状 幼稚園教諭二種免許状	教育実習	小学校または幼稚園	2年次春セメスター	4週間
小学校教諭二種免許状	介護等体験※1	特別支援学校(2日間) 社会福祉施設(5日間)	2年次春セメスター ～秋セメスター※2	7日間
児童厚生二級指導員	児童館実習	児童厚生施設等	2年次8月～9月	12日間
レクリエーション・ インストラクター	レクリエーション実習	レクリエーション協会 指定のレクリエーション 事業に随時参加	2年次春セメスター ～秋セメスター	

※実習時期及び期間は変更することがあります。

※1 介護等体験は中学校教員免許状等を既に取得している場合など、免除となる場合があります。

※2 介護等体験は申込み自治体により、参加時期が1年次秋セメスターになる場合があります。

小学校教諭と幼稚園教諭の 両免許状取得を希望する場合

小学校か幼稚園のいずれかで4週間の教育実習を行います。小学校と幼稚園のどちらで実習を行っても、両方の教員免許状の取得が可能です。なお、実習先はご自身の進路や希望する職種に沿って選択します。教育実習に加え、介護等体験の参加も必要です。



実習指導担当教員の配置

学外実習に参加する学生に対して、本学の教員が実習指導担当教員として配置され、個別実習指導を担当します。実習指導担当教員は、一人一人に対してオンラインでの実習前、実習中及び実習後の指導を実施します。



4つの学修サポート

学修意欲を高める継続的なサポート 卒業後の進路も支援します

学生の目標達成に向けたきめ細やかな4つの学修サポートが用意されています。

e-Learning Center

いつでも相談を受付

学生からの問い合わせ、相談はe-Learning Centerが窓口となり、対応します。e-learningシステム(LMS)の使い方や学修を進めていく上での困り事などありましたら、メールにていつでも相談を受付けます。

※回答は原則、平日8:30～17:00に順次対応します。問い合わせ内容によっては時間を要する場合や、担当部署から直接回答することもあります。



大学図書館の利用

学外でもスクーリングでも利用できる

電子コンテンツが充実

通信教育課程の学生も図書館が契約する「電子ブック」「電子ジャーナル」「オンラインデータベース」などの電子コンテンツに学外からアクセスし、学修に活用することができます。

※一部、学外から利用できないコンテンツがあります。

スクーリング時に大学図書館の利用が可能

スクーリング授業日は、大船キャンパスの図書館で資料の閲覧・複写・貸出サービスを受けることができます。

資料探しのお手伝いも行います

メールにて学習上必要な資料相談を承ります。お探しの本や学修に役立つ資料が、皆様のお住まいの近くにも所蔵されているかなどの相談にも対応します。



クラスアドバイザー・教務担当とクラスピアツア

教員による2つのサポート体制

※正科生のみ対象

クラスアドバイザーと教務担当

1学年を3クラスとし、各クラスにはクラスアドバイザー(クラス担任)を配置します。クラスアドバイザーは、学修状況や学外実習、卒業後の進路等の相談に対し、学修活動全般をサポートします。また、履修科目や免許に関する相談は教務担当がサポートします。

クラスピアツア

各セメスターに対し2回をめぐりにオンライン上の交流の広場として「クラスピアツア」を実施します。学生とクラスアドバイザーとの信頼関係を育み、学生同士の情報共有、交流を図ることで、学修への意欲を高める機会となるよう設定します。



キャリアサポート

進路に合わせた2つのキャリアサポート体制

※正科生のみ対象

本学では学生の希望する進路に合わせて、教員を目指す方を支援する「教職センター」と、一般企業や公務員を目指す方を支援する「就職センター」が、連携してキャリアサポートを実施しています。

就職オリエンテーションの実施

入学後および卒業前にオリエンテーションを実施し、学生の皆様の希望進路に関するアンケート、キャリア支援の詳細についての説明等を行います。



小学校教諭／幼稚園教諭の採用試験に向けたサポート

①教職ガイダンス(オンデマンド)

小学校教諭または幼稚園教諭として就職するために知っておきたい基本的な情報を提供します。就職活動スケジュールの例を紹介、就業希望エリアの採用情報を収集するための方法等を解説します。

②教員採用試験対策講座(オンデマンド)

希望する自治体や法人等の採用選考試験に向けた対策をより円滑にするためのコンテンツを提供します。受験希望者が、ご自身の希望や状況に応じて、主体的に対策を進めることができるよう支援します。

就職活動支援講座(オンデマンドコンテンツの提供)

就職活動やキャリア開発をサポートするために、各種講座をオンデマンドコンテンツとして提供します。コンテンツの内容として、就活マナー講座、自己分析講座、自己PR・志望動機の書き方講座、面接対策講座、ワークルール講座などを提供予定です。

求人紹介

就職希望者を対象に、本学に届く求人の中から通信教育課程の学生を対象とした求人を紹介します。

在学生インタビュー

① 志望動機 ② 学びの魅力

教員として子どもたちに寄り添いたい

- ① 自衛官時代に被災地で活動する中で、困難な状況に置かれた子どもたちの姿を目の当たりにしました。私は子どもたちに寄り添い力になりたいと思い小学校教員を志望しました。最短で教員免許状の取得を目指すため、鎌倉女子大学短期大学部の通信教育課程を選びました。
- ② 通信教育では復習したいところを繰り返し何度でも視聴でき、自分の都合の良い時間に学べるのが魅力です。また、現在の指導要領や児童への接し方など、とても分かりやすく教えてくれることも特長だと思います。



長谷部 保彦さん(30代)
青森県在住／元自衛官、
児童福祉補助員として勤務



木村 美咲さん(20代)
神奈川県在住／
元プロダンサー、ダンスインス
トラクターとして勤務

子どもたちの魅力を引き出したい

- ① 幼稚園の先生を目指しながら、現在はダンスインストラクターとして働いています。子どもたち一人ひとりの魅力を引き出すことは、どちらの仕事でも役に立つ大切な学びだと思い入学を決めました。
- ② 異なる生活スタイルの中で学ぶ仲間たちと交流できるクラスピアツアでは、悩みを共有したり、時間の使い方や学習スタイルの工夫が参考になったり、何より、一人ではないことが励みになります。通信制でも、リアルに話せる機会があることは本当に心強いと思います。

仕事との両立に適した学び方だと思う

- ① これまでの社会経験を生かしながら小学校教員として子どもたちの成長を支えたいと考えたとともに、学校を取り巻く課題の改善が急務だと感じ、何かに貢献したいという思いから入学を決めました。
- ② 家族の支えのもと、電車やバスでの移動時間も活用しながら学ぶなど、通信教育の自由度の高さは、仕事との両立に適していると思います。また、講義を繰り返し視聴できるため、理解を深めやすいことも魅力です。



横澤 勇也さん(30代)
群馬県在住／
建設・設計業界の企業に勤務



新谷 咲子さん(40代)
神奈川県在住／
小学校介助員・学習指導員
として勤務

可能性のある子どもの成長を支えたい

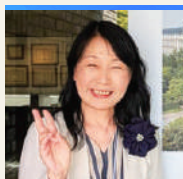
- ① PTAの活動を通して教員不足の現状を目の当たりにし、小学校教員の免許状取得を目指しています。
- ② 21時頃から2、3時間勉強に取り組んでいます。眠気が強いときは無理をせず寝て、計画を調整しています。私がパソコンを開き、イヤホンをするとお母さんは勉強を始めるんだと子どもたちも理解してくれます。学修は、分からないことがあれば先生方へ質問でき、丁寧な解説や励ましの言葉をいただけることが魅力だと感じています。私の長男も中学校の保健体育の教員になることが夢です。親子共に教員を志していることは、私も背中を見せて頑張ろうと思える原動力になっています。

子どもたちの支援をより良いものにしたい

- ① 社会経験の中で不登校や発達に特性を持つ子どもたちと関わる機会がありました。その子たちへの環境の改善や適切な支援を行うために正しい知識を身につけたいと思い志望しました。順調に学習が進み、教員免許状が取得出来た時、私は60歳。とてもワクワクしています。
- ② 「そうだった」と自分が子育てをしていた中で感じていたことの答え合わせをしているような楽しさがあります。クラスアドバイザーの先生が細やかに支援してくださり、安心して学修を進めることができます。



竹見 美佐子さん(50代)
神奈川県在住／
外資系企業で20年勤務後、
障がい児サポート等に携わる



吉澤 久美子さん(50代)
神奈川県在住／
養護教諭として小学校・特別
支援学校に約30年勤務

養護教諭として実践に生かしながら学ぶ

- ① 約30年間養護教諭として働いていますが、現代の学校現場が抱える課題に対応するには専門的で体系的な知識が必要だと痛感し、入学を決めました。
- ② 私は「学んだことを翌日の現場で実践・検証する」ことを目標に、学修に取り組んでいます。実践・検証したことを先生と意見を交わす機会もあり、深い学びに繋がっていると実感しています。学生同士の交流も心の支えとなり、「一人ではない」と感じながら充実した学びを得ています。

入学者紹介制度のご案内

本学の卒業生または在学生から紹介を受けた方が、
鎌倉女子大学短期大学部 初等教育学科 通信教育課程e-learning courseの正科生として入学された場合、
紹介した方と紹介を受けた方の双方に

QUOカード3,000円分を贈呈いたします。



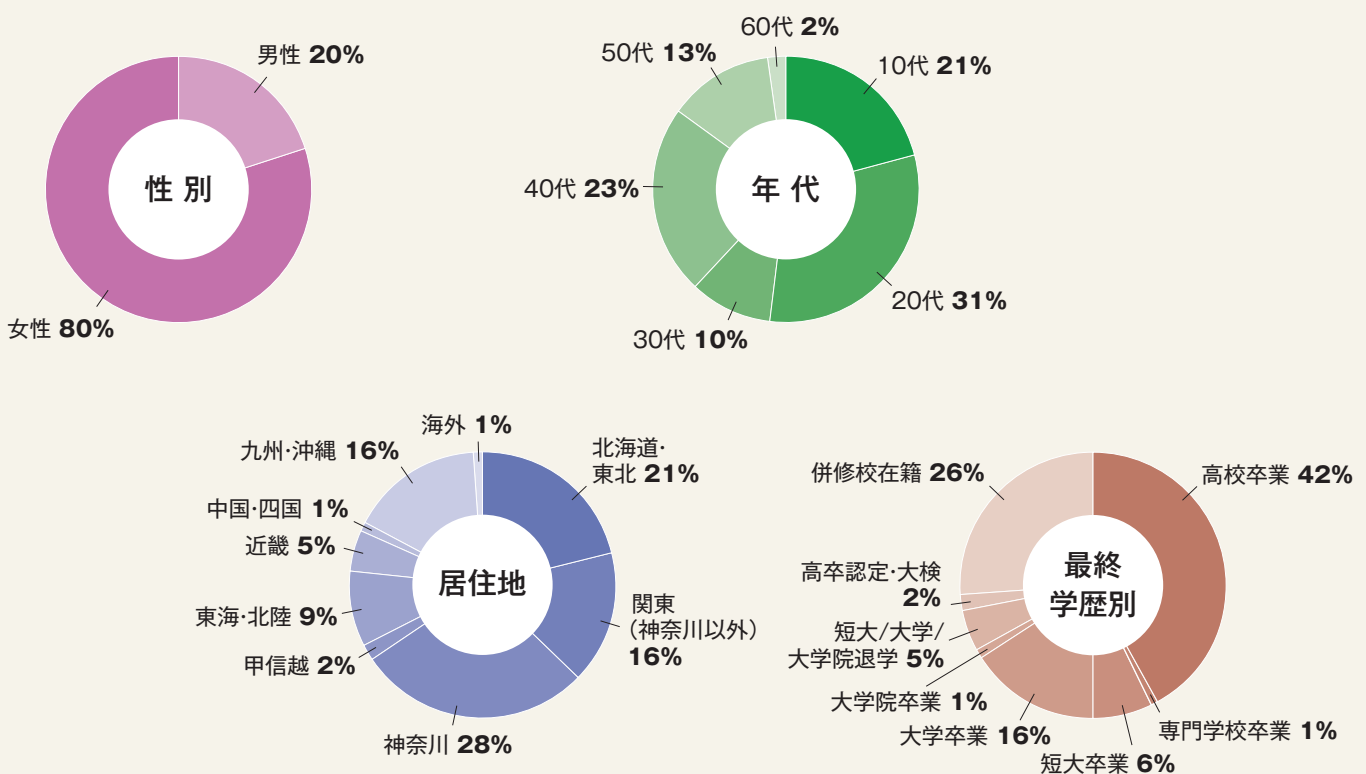
利用方法

利用申請書に必要事項を記入し、紹介を受けた方が出願書類と一緒に提出してください。紹介を受けた方が入学された場合、双方に対してQUOカードを送付いたします。

制度の詳細・
申請書はこちらから



入学者データ(2026年度)



希望免許・資格(延べ人数)

	希望者数
小学校教諭二種免許状	112
幼稚園教諭二種免許状	102
准学校心理士	29
児童厚生二級指導員	16

	希望者数
幼児体育指導員初級	5
レクリエーション・インストラクター	5
キャンパインストラクター	4
秘書士	7

カリキュラム一覧

◎免許・資格プログラムの必修科目 ○免許・資格プログラムと企業学習プログラム選択科目

科目区分		授業科目	単位数			配当年次※1	授業形態	免許・資格プログラム											企業学習プログラム	備考※2	
								2種 小学校	2種 幼稚園	心理士 准学校	児童厚生 二級指導員	幼児体育 指導員初級	インストラクター レクリエーション	キャンプ インストラクター	秘書士						
			必修	選択	自由																
総合教育科目	建学の精神と文化	子ども総合教育講座	2			1春	メディア授業											必修	必修を含め14単位以上履修		
		鎌倉の歴史・文化		2		2春	メディア授業											2単位以上 選択必修			
	社会と産業	日本国憲法		2		1秋	メディア授業	◎	◎												
		経済のしくみ		2		2秋	メディア授業								○	○					
	生命と自然	生活と環境		2		1秋	メディア授業								○	○					
	生活と技術	数と統計		2		2春	メディア授業								○	○					
		日本語表現		2		2秋	メディア授業							◎	○						
		キャリアデザイン		2		2春	メディア授業							○	○						
	健康とスポーツ	健康・スポーツ科学	1			1春	メディア授業	◎	◎							○	必修				
		スポーツ実技	1			1秋	メディア授業	◎	◎								必修				
	情報科学	情報リテラシー	2			1春	メディア授業	◎	◎						○		必修				
		プレゼンテーション		1		1秋	メディア授業								○					2単位以上 選択必修	
	外国語	英語		2		1秋	メディア授業	2単位以上 選択必修	2単位以上 選択必修												
		英語コミュニケーション		2		1春	メディア授業														必修を含め48単位以上履修
専門教育科目	小学校教科・教科指導法	国語(書写を含む)		2		1春	メディア授業									○					
		社会		2		2春	メディア授業									○					
		算数		2		1秋	メディア授業									○					
		理科		2		2春	メディア授業									○					
		生活		2		1秋	メディア授業	4単位以上 選択必修													
		音楽		2		1春	メディア授業＋スクーリング		○												
		図画工作		2		1春	メディア授業＋スクーリング		○							○					
		家庭		2		2春	メディア授業									○					
		体育		2		1春	メディア授業＋スクーリング		○							○					
		小学校英語		2		2春	メディア授業									○					
		国語科教育法		2		1秋	メディア授業	◎													
		社会科教育法		2		2秋	メディア授業	○													

科目区分		授業科目	単位数			配当年次※1	授業形態	免許・資格プログラム										企業学習プログラム	備考※2
			必修	選択	自由			2種小学校	2種幼稚園	心理士	准学校	二級指導員	児童厚生	幼児体育指導員初級	インストラクター	ベリキースポーツインストラクター	キャンプインストラクター		
専門教育科目	小学校教科・教科指導法	算数科教育法		2		1秋	メディア授業	◎											
		理科教育法		2		2秋	メディア授業	○											
		生活科教育法		2		2春	メディア授業	◎											
		音楽科教育法		2		1秋	メディア授業	◎											
		図画工作科教育法		2		1秋	メディア授業	◎											
		家庭科教育法		2		2秋	メディア授業	○											
		体育科教育法		2		2春	メディア授業	○											
		小学校英語教育法		2		2秋	メディア授業	◎											
	幼稚園領域・保育内容指導法	子どもと健康		1		1春	メディア授業		◎										
		子どもと人間関係		1		1春	メディア授業		◎										
		子どもと環境		1		1春	メディア授業		◎										
		子どもと言葉		1		1春	メディア授業		◎										
		子どもと表現(音楽)		1		1春	メディア授業		選択必修										
		子どもと表現(造形)		1		1春	メディア授業												
		保育内容総論		2		2春	メディア授業		◎										
		保育内容演習健康		2		1秋	メディア授業		◎										
		保育内容演習人間関係		2		1秋	メディア授業		◎										
		保育内容演習環境		2		1秋	メディア授業		◎										
		保育内容演習言葉		2		2秋	メディア授業		◎										
		保育内容演習表現		2		2秋	メディア授業		◎										
	小学校・幼稚園教職	教育原理	2			1春	メディア授業	◎	◎										
		教職概論(同和教育を含む)		2		1秋	メディア授業	◎	◎										
		教育制度		2		2春	メディア授業	◎	◎										
		発達心理学	2			1春	メディア授業	◎	◎	○								○	
		教育心理学		2		2秋	メディア授業	○	○	○								○	
		特別支援教育		1		2秋	メディア授業	◎	◎	○								○	
		教育方法・技術 (情報通信技術の活用を含む)		2		2春	メディア授業	◎	◎										
	教育相談		2		2秋	メディア授業	◎	◎	○								○		

必修を含め48単位以上履修

必修を含め48単位以上履修

カリキュラム一覧

科目区分	授業科目	単位数			配当年次 ※1	授業形態	免許・資格プログラム									企業学習 プログラム	備考※2
		必修	選択	自由			2種 小学校	2種 幼稚園	心理士 准学校	二級 指導員	児童厚生 指導員	幼稚園 体育級 指導員	レクリエーション インストラクター	キャンプ インストラクター	秘書士		
専門教育科目	小学校教職	カリキュラム論Ⅱ	2		1秋	メディア授業	○										
		道徳教育の理論と方法	2		2春	メディア授業	○										
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2		2秋	メディア授業	○										
		児童指導(キャリア教育を含む)の理論と方法	2		1春	メディア授業	○										
	幼稚園教職	カリキュラム論Ⅰ	2		1秋	メディア授業		○									
		幼児理解の理論と方法	2		2春	メディア授業		○									
	小学校・幼稚園 教育実践	教育実習指導	1		1秋	スクーリング	○	○									
		教育実習	4		2春秋	学外実習	○	○									
		教職実践演習(幼・小)	2		2秋	メディア授業	○	○									
	児童厚生 指導員	児童館・放課後児童クラブの機能と運営	2		1春	スクーリング				○							
		児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法①	2		2春	スクーリング				○							
		児童館実習	2		2春秋	学外実習				○							
	幼児体育 指導員	幼児の運動指導	2		1・2春	メディア授業＋スクーリング					○						
	レクリエーション・ インストラクター	レクリエーション理論	2		1秋	メディア授業							○				
		レクリエーション実技	1		2春	メディア授業＋スクーリング							○				
		レクリエーション実習(学外)	1		2春秋	学外実習							○				
	キャンプ インストラクター	キャンプと自然体験	2		1・2春	メディア授業＋スクーリング								○			
	秘書士	秘書学概論	2		2春	メディア授業									○	○	
		秘書実務	2		2秋	メディア授業									○	○	

必修を含め48単位以上履修

※1 配当年次について

1春:1年次春 semester 開講、1秋:1年次秋 semester 開講 2春:2年次春 semester 開講、2秋:2年次秋 semester 開講

※2 卒業要件及び履修方法

2年以上在学し、次の単位(合計62単位以上)を修得すること。

総合教育科目は、必修科目6単位、「精神と文化」「社会と産業」「生命と自然」「生活と技術」の選択科目から2単位以上、「外国語」の選択科目から2単位以上修得し、合計14単位以上修得すること。

専門教育科目は、必修科目4単位、選択科目44単位以上修得し、合計48単位以上修得すること。

教職課程カリキュラム対照表

本学では、教員免許状取得のために必要な「教育職員免許法施行規則の第66条の6に定める科目」及び「教科及び教職に関する科目」については、以下の科目によって構成しています。

①教育職員免許法施行規則の第66条の6に定める科目(幼稚園教諭・小学校教諭共通)

教育職員免許法施行規則の第 66 条の 6 に定める科目	法定 単位数	本学における授業科目			備考
		授業科目名	単位数		
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		
体育	2	健康・スポーツ科学	1		
		スポーツ実技	1		
外国語コミュニケーション	2	英語		2	いずれか 1 科目 選択必修
		英語コミュニケーション		2	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー	2		

②幼稚園教諭二種免許状

第1欄	教科及び教職に関する科目			法定 単位数	本学における授業科目			備考
					授業科目名	単位数		
						必修	選択	
第2欄	領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健 康	12	子どもと健康	1		いずれか1科目 選択必修
			人間関係		子どもと人間関係	1		
			環 境		子どもと環境	1		
			言 葉		子どもと言葉	1		
			表 現		子どもと表現(音楽)		1	
		保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	子どもと表現(造形)			1		
			保育内容総論		2			
			保育内容演習健康		2			
			保育内容演習人間関係		2			
			保育内容演習環境		2			
			保育内容演習言葉		2			
			保育内容演習表現		2			
第3欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育原理	2			
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論 (同和教育を含む)	2			
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育制度	2			
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		発達心理学	2			
				教育心理学		2		
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	1			
		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		カリキュラム論Ⅰ	2			
第4欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)	4	教育方法・技術(情報通信技術の活用を含む)	2			
		幼児理解の理論及び方法		幼児理解の理論と方法	2			
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談	2			
第5欄	教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習指導	1			
				教育実習	4			
		教職実践演習	2	教職実践演習(幼・小)	2			
第6欄	大学が独自に設定する科目		※(2)	音楽		2		
				図画工作		2		
				体育		2		

※第6欄の単位数には、第2欄から第5欄までの法定単位数を超えて履修した単位数を含めることができる。

教職課程カリキュラム対照表

③ 小学校教諭二種免許状

第1欄	教科及び教職に関する科目			法定 単位数	本学における授業科目			備考
					授業科目	単位数		
						必修	選択	
第2欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語（書写を含む。）	16	国語（書写を含む）		2	いずれか2科目 選択必修
			社会			2		
			算数			2		
			理科			2		
			生活			2		
			音楽			2		
			図画工作			2		
			家庭			2		
			体育			2		
			外国語			2		
		各教科の指導法 （情報通信技術の活用を含む。）	国語（書写を含む。）		国語科教育法	2		
			社会		社会科教育法		2	
			算数		算数科教育法	2		
			理科		理科教育法		2	
			生活		生活科教育法	2		
			音楽		音楽科教育法	2		
			図画工作		図画工作科教育法	2		
			家庭		家庭科教育法		2	
			体育		体育科教育法		2	
			外国語		小学校英語教育法	2		
第3欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育原理	2			
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 （チーム学校運営への対応を含む。）		教職概論 （同和教育を含む）	2			
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 （学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度	2			
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		発達心理学	2			
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		教育心理学		2		
		教育課程の意義及び編成の方法 （カリキュラム・マネジメントを含む。）		特別支援教育	1			
				カリキュラム論Ⅱ	2			
第4欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	6	道徳教育の理論と方法	2			
		総合的な学習の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2			
		特別活動の指導法		教育方法・技術（情報通信技術の活用を含む）	2			
		教育の方法及び技術		児童指導（キャリア教育を含む）の理論と方法	2			
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育相談	2			
		生徒指導の理論及び方法						
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法						
第5欄	教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習指導	1			
		教育実習		4				
	教職実践演習	2	教職実践演習（幼・小）	2				
第6欄	大学が独自に設定する科目		※(2)					

※第6欄の単位数には、第2欄から第5欄までの法定単位数を超えて履修した単位数を含めることができる。

担当教員一覧

★ 鎌倉女子大学短期大学部所属教員 ☆ 鎌倉女子大学所属教員

教育・福祉・心理・保健・表現文化の5分野を軸に

子どもの成長支援について学べる幅広い専門家が揃っています。



小泉 裕子 教授★

短期大学部学部長／初等教育学科長

[専門分野] 保育学、幼児教育学

[担当科目] 子ども総合教育講座、幼児理解の理論と方法



中島 朋紀 教授★

初等教育学科通信教育課程 主任

[専門分野] 教育学、教育思想史、道德教育

[担当科目] 教育原理、子ども総合教育講座、
道德教育の理論と方法

相澤 昭宏 准教授★

[専門分野] 幼保小連携、
生活科・総合的な学習の時間
[担当科目] 教育制度、生活科教育法、
教職実践演習(幼・小)石川 満佐育 准教授★☆
博士(心理学)[専門分野] 学校心理、発達臨床心理学、
生徒指導・教育相談
[担当科目] 児童指導(キャリア教育を含む)
の理論と方法、教育相談、
教職実践演習(幼・小)

上田 陽子 准教授★

[専門分野] 幼児教育、保育学
[担当科目] カリキュラム論I、
教職実践演習(幼・小)

榎本 至 教授☆

[専門分野] スポーツ方法学
[担当科目] 健康・スポーツ科学

大竹 奈穂子 教授★

[専門分野] 秘書学
[担当科目] キャリアデザイン、秘書学概論、
秘書実務

落合 由美 教授☆

[専門分野] 臨床栄養学、応用栄養学
[担当科目] 子ども総合教育講座金子 智昭 講師★
博士(教育学)[専門分野] 保育・教育心理学、動機づけ
[担当科目] 教育実習

桐生 直幸 准教授★

[専門分野] 英語教育学
[担当科目] 小学校英語、
小学校英語教育法

担当教員一覧

★ 鎌倉女子大学短期大学部所属教員 ☆ 鎌倉女子大学所属教員



久保内 加菜 教授 ☆

〔専門分野〕 教育行政、社会教育
 〔担当科目〕 教育制度、教職概論(同和教育を含む)



幸喜 健 准教授 ★

〔専門分野〕 保育学、健康・スポーツ科学
 〔担当科目〕 保育内容演習健康、
 保育内容総論、
 教職実践演習(幼・小)



小島 淳子 准教授 ☆

〔専門分野〕 情報教育、学校心理学
 〔担当科目〕 教育方法・技術
 (情報通信技術の活用を含む)



後藤 俊哉 准教授 ★

〔専門分野〕 音楽教育、学校経営、
 人材育成
 〔担当科目〕 子どもと表現(音楽)、
 音楽科教育法、
 教職概論(同和教育を含む)



小林 博子 准教授 ★

〔専門分野〕 臨床発達心理学、発達心理学
 〔担当科目〕 子どもと人間関係、発達心理学、
 保育内容演習人間関係



薩摩林 淑子 教授 ★

〔専門分野〕 ピアノ、音楽科教育
 〔担当科目〕 音楽、保育内容演習表現、
 子どもと表現(音楽)



佐藤 雅己 准教授 ☆

〔専門分野〕 特別支援教育
 〔担当科目〕 特別支援教育

佐藤 陽子 准教授 ☆
博士(学術)

〔専門分野〕 理科教育、化学教育、
 キッチンサイエンス
 〔担当科目〕 家庭、理科教育法、
 家庭科教育法

白子 純子 准教授 ★
博士(保健学)

〔専門分野〕 小児保健学、小児看護学、
 学校保健
 〔担当科目〕 子どもと健康

杉浦 学 教授 ☆
博士(政策・メディア)

〔専門分野〕 教育工学、プログラミング教育
 などの情報教育
 〔担当科目〕 情報リテラシー、
 プレゼンテーション

杉山 勇人 教授 ★
博士(教育学)

〔専門分野〕 書写書道教育、国語科教育
 〔担当科目〕 国語(書写を含む)、
 国語科教育法



鈴木 樹 教授 ☆

〔専門分野〕 教育方法学、教育課程論、
 特別活動論
 〔担当科目〕 児童指導(キャリア教育を含む)
 の理論と方法、特別活動及び
 総合的な学習の時間の指導法



関川 満美 准教授 ★

〔専門分野〕 幼児教育学、保育学
 〔担当科目〕 子どもと環境、
 保育内容演習環境、
 教職実践演習(幼・小)



曾我 市太郎 講師 ★

〔専門分野〕 絵画(日本画)、美術教育
 〔担当科目〕 子どもと表現(造形)、
 図画工作科教育法、
 保育内容演習表現



高須 正幸 准教授 ★

〔専門分野〕 社会福祉、障害福祉、
 児童福祉
 〔担当科目〕 子ども総合教育講座、
 児童館・放課後児童クラブの
 機能と運営



武井 安彦 教授 ☆

〔専門分野〕 日本経済論、金融論
 〔担当科目〕 経済のしくみ



武山 朋子 准教授★
 [専門分野] 幼保小連携、生活科、総合的な学習
 [担当科目] 児童指導(キャリア教育を含む)の理論と方法、生活



高橋 佐智子 講師 ☆
 [専門分野] 被服人間工学、被服構成学
 [担当科目] 家庭



千々松 愛子 准教授 ☆
 博士(法学)
 [専門分野] 民事法学
 [担当科目] 日本国憲法



D.M.チャップマン 教授 ☆
 [専門分野] ゲームフィクション、タスクベースの学習
 [担当科目] 英語コミュニケーション、小学校英語



遠山 孝司 教授 ☆
 [専門分野] 教育心理学、教育工学、教師学
 [担当科目] 教育心理学



西島 大祐 准教授★
 [専門分野] 野外教育、幼児体育、レクリエーション
 [担当科目] 子ども総合教育講座、スポーツ実技、レクリエーション理論



野田 明 講師 ☆
 [専門分野] 英語教育、第二言語習得、メディアと教育デザイン
 [担当科目] 英語、小学校英語教育法



橋本 吉貴 准教授 ☆
 [専門分野] 数学教育学
 [担当科目] 算数、算数科教育法



早石 周平 教授 ☆
 博士(理学)
 [専門分野] 理科教育、環境教育
 [担当科目] 生活と環境、理科



平井 佳江 准教授 ☆
 [専門分野] 国語科教育、教師教育
 [担当科目] 国語科教育法



福井 文威 教授 ☆
 博士(教育学)
 [専門分野] 政策科学、高等教育学
 [担当科目] 数と統計



藤原 昌太 准教授 ☆
 博士(保健学)
 [専門分野] 保健科教育学、学校保健、健康教育学
 [担当科目] 体育科教育法



寶川 雅子 教授★
 [専門分野] 育児学、保育学、乳幼児精神保健
 [担当科目] 子どもと言葉、保育内容演習言葉、教育実習指導(幼稚園)



細野 美幸 教授★
 博士(人文科学)
 [専門分野] 心理学、発達心理学、認知心理学
 [担当科目] 子ども総合教育講座、発達心理学



山成 美穂 准教授★
 博士(美術)
 [専門分野] 美術、美術教育
 [担当科目] 子どもと表現(造形)、図画工作科教育法、保育内容演習表現

よくある質問

質問の多い項目をQ & A形式でまとめました。

Q 学修

通学はせず、完全オンラインで卒業できますか？

A 学士（短期大学士）の取得のみを目指す場合は、通学不要で卒業できます。免許・資格の取得を希望する場合はスクーリング（面接授業）が必須となるものもあります。

免許・資格の取得を目指さなくても学べますか？

A 本通信教育課程では、免許・資格の取得は必須ではありませんので、免許・資格を取得せずに卒業することもできます。また、正科生として入学する形の他、科目等履修生として、学びたい科目を1科目から履修するスタイルでも学修できます。

学修には自分専用のPCが必要ですか？

A 動画視聴等はスマートフォンでもできますが、授業によってはWordやExcel等の使用、ファイルのアップロード操作等を行うため、PCを使用します。受講に際して使用できるPCがあれば、必ずしも個人専用のPCである必要はありません（ご家族と共用のPC等でも問題ありません）。PCを使用する授業ではWindows PCを想定した授業を行うため、新規に購入する場合はWindows OSのPCを推奨します。

PCスキルはどの程度必要ですか？

A 学修を進める上では、文字入力、インターネット検索、メールの送受信、ファイルのダウンロード・アップロード等の基本的なPCスキルがあれば、問題ありません。WordやExcelの基本操作は授業で学修します。

Q スクーリング

スクーリングは、いつ、どこで実施されますか？

A スクーリング（面接授業）は、本学の大船キャンパスで実施します。実施時期は、7月、8月、11月の平日もしくは土・日曜日に、1科目につき1日～3日間の集中形式で行います。

学内で実施されるスクーリングに出席する際に「学割」を使うことができますか？

A JR線で片道100キロを超える区間を乗車する場合には学生運賃割引の適用を受けることができます。（正科生のみ対象）。

Q 免許・資格の取得

できるだけ短い期間で教員免許状を取得することはできますか？

A 2年間で卒業と同時に小学校教諭二種免許状・幼稚園教諭二種免許状を取得できるカリキュラムを編成しています。

既に他校種の教員免許状を保有していますが、小学校や幼稚園の教員免許状も取得できますか？

A 既に他校種の免許状を保有されている方でも小学校、幼稚園の免許状取得は可能です。ただし、隣接校種免許状取得に該当する方は、単位の流用並びに不足単位の確認は、先に居住地のある都道府県の教育委員会にて単位相談を受けてから、本学へお問い合わせください。その結果がお手元であれば、本学への入学区分や該当科目を正確にお答えできます。

Q 教育実習

教育実習先の紹介、斡旋はしてもらえますか？

A 原則、各自が教育実習の受け入れ先と交渉し、実習校、実習園を確保していただきます。ただし、実習を希望する学生が多くなる地域については、教育委員会と連携しながら指導を行っていくケースも想定しています。

年齢が50歳ですが、教育実習に参加することは可能ですか？

A 本学では、年齢や性別を理由として教育実習を制限することはありません。ただし、地域や実習先の状況によっては、教員採用試験における年齢制限の影響もあり、年齢を理由に教育実習の受け入れが難しくなる場合があることを予めご理解ください。

現在の勤務先で教育実習を行うことはできますか？

A できません。実習先の選定条件のひとつとして、「実習年度に勤務校（園）でないこと」としています。教諭、講師、TT、介助員、事務職、栄養士職、用務職等、いかなる職種・雇用形態（常勤・非常勤）であっても認められません。また、姉妹校・園での実習や、勤務先の所属長と実習希望先の校長・園長が同一である場合も認められません。

Q 介護等体験

介護等体験は、教員免許状を取得するために絶対に必要ですか？

A 介護等体験は小学校教諭免許状を取得する際には必須です。幼稚園教諭免許状のみの取得希望であれば介護等体験は必要ありません。また、既に中学校教諭免許状を取得済の場合や、その他条件に該当する場合には、介護等体験が免除になります。

介護等体験は、どこで実施するのでしょうか？

A 介護等体験は、ご自身の居住地の都道府県で行います。介護等体験（7日間）は、原則として、社会福祉施設等で5日間、特別支援学校で2日間実施します。どちらの体験についても、本学を通じて各都道府県の社会福祉協議会および教育委員会に取りまとめて申請を行い、受け入れ先や実施期間が決定します。ご自身の都合を調整したうえで、指定された受け入れ先及び日程に参加してください。





Q 学費等

学費をできるだけ抑えて学ぶことはできますか？

A 正科生の場合、2年間在籍して概ね606,000円（短期大学卒業＋小学校教諭免許状＋幼稚園教諭免許状取得を想定）になります。これは、通学課程に比べておよそ4分の1程度の学費で学ぶことができることになります。なお、1年間の学費は2期に分けて納入するため、1回の支払金額も抑えられます。

奨学金制度はありますか？

A 正科生を対象に、独立行政法人日本学生支援機構の奨学金が利用できます。奨学金の種類・金額・基準・申請方法等については、入学後に案内します。

厚生労働省指定の「教育訓練給付金制度」は適用されますか？

A 本通信教育課程では厚生労働省の指定を受けておりませんので、適用されません。

Q 科目等履修生

科目等履修生の入学時期は春学期のみですか？

A 科目等履修生の場合は、秋学期からの入学も可能です。

科目等履修生として「教育実習」「介護等体験」を実施することはできますか？

A 本学の通信教育課程では、「教育実習」および「介護等体験」の対象は正科生のみに限らせていただきます。

Q その他

現在、他大学に在籍していますが、教員免許状を取得したいので正科生として入学できますか？

A 他大学在籍中の方は、二重学籍となるため正科生として入学することはできません。正科生ではなく科目等履修生としての入学、もしくは卒業（離籍）後の入学をご検討ください。

現在専修学校（専門学校等）に通っていますが、入学できますか？

A 専修学校（専門学校等）は二重学籍の扱いはされませんので、入学が許可されます。

既に別の大学（あるいは短期大学）を卒業しています。その学校で修得した単位は認定してもらえますか？

A 正科生に限り、既修得単位の認定をすることができます。（認定上限は30単位）
入学許可後に申請し、審査を経て教育上有益であると認めた場合に限り、本学で修得した単位として個別認定します。
既修得単位の申請に必要な書類は、入学後にご案内します。

2027 学生募集要項

鎌倉女子大学短期大学部のアドミッションポリシー (入学者受入れの方針)

鎌倉女子大学短期大学部は、ディプロマポリシーに定める人材を育成するため、以下のような学生を求める。

- 1 高等学校までの学習課程を通じて身につけなければならない基礎的学力及び倫理性を備えている人。
 - 2 建学の精神と本学の教育の伝統を尊重し、学修課程を通じてこれを身につける努力を惜しまない人。
 - 3 本学が行う教育活動に積極的に参加し、これにふさわしい学士力を身につける努力を惜しまない人。
- このような学生を選抜し、また、多様な能力及び個性をもった学生を受け入れるため、各種の選抜方法を設定する。

初等教育学科 通信教育課程のアドミッションポリシー

初等教育学科 通信教育課程は、ディプロマポリシーに定める人材を育成するため、修学意欲のある以下のような学生を求める。

- 1 高等学校卒業相当の基礎学力を有する人。
- 2 ものごとを論理的に思考・判断し、自分の考えを文章や口頭で適切に表現することができる人。
- 3 幼児期及び児童期に関心があり、教育・保育に関する諸問題を探究できる人。
- 4 多様な人々と主体的に関わり、コミュニケーションを取りながら協働して学修に取り組む意欲のある人。
- 5 人とかかわることが好きで、幼稚園・小学校の教員として、または教育・保育関連企業等において活躍しようとする明確な目的意識があり、その実現に向かってひたむきな努力を惜しまず、最後までやり遂げ、主体的に社会に貢献する意欲のある人。

初等教育学科 通信教育課程のディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、
カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）は本学ホームページをご参照ください。
▶ <https://e-learning.kamakura-u.ac.jp/purpose/>

「大学入学資格について」

文部科学省ホームページより引用

1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者(法第90条第1項)
2. 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者(法第90条第1項)
3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者(12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程(文部科学大臣指定準備教育課程一覧)又は研修施設(文部科学大臣指定研修施設一覧)の課程を修了する必要がある。)(施行規則第150条第1号、昭和56年文部省告示第153号第2号))
※「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者」とは、「外国の正規の学校教育における12年目の課程を修了した者」という意味です。
修了した課程が正規の学校教育であるか、何年目の課程であるかはそれぞれの国の大使館等にお問い合わせください。
4. 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した18歳以上の者(12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程(文部科学大臣指定準備教育課程一覧)又は研修施設の課程(文部科学大臣指定研修施設一覧)を修了する必要がある。)(昭和56年文部省告示第153号第1号、第2号))
※合格した学力認定試験が12年の課程修了相当の学力認定試験であるかどうかはそれぞれの国の大使館等にお問い合わせください。
5. 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程(文部科学大臣指定 高等学校に対応する外国の学校の課程一覧)を修了した者(昭和56年文部省告示第153号第3号)
6. 我が国において、外国の高等学校相当として指定した教育施設(我が国において、外国の高等学校相当として指定した教育施設一覧)を修了した者(12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程(文部科学大臣指定準備教育課程一覧)を修了する必要がある。)(昭和56年文部省告示第153号第4号、第5号)
7. 高等学校と同等と認定された在外教育施設(文部科学大臣認定等在外教育施設(高等部を設置するもの)一覧)の課程を修了した者(施行規則第150条第2号)
8. 指定された専修学校の高等課程(文部科学大臣指定専修学校高等課程一覧)を修了した者(施行規則第150条第3号)
9. 旧制学校等を修了した者(昭和23年文部省告示第47号第1号～第19の2号)
10. 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格を保有する者(昭和23年文部省告示第47号第20号～第24号)
11. 国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS)の認定を受けた教育施設(国際的な評価団体認定外国人学校について)の12年の課程を修了した者(昭和23年文部省告示第47号第24号)
※CISの旧名称であるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したものについても入学資格が認められます。
12. 高等学校卒業程度認定試験(旧大検)に合格した者(施行規則第150条第5号)(なお、18歳に達していないときは、18歳に達した日の翌日から認定試験合格者となる。)
13. 「飛び入学」した者であって、高等学校卒業程度認定審査に合格した者(施行規則第150条第5の2号)
14. 「飛び入学」した者をその後に入学者とする大学において、大学教育を受ける学力があると認められた者(施行規則第150条第6号)
15. 大学において個別の入学資格審査により認めた18歳以上の者(施行規則第150条第7号)
※15については、事前に本学における個別入学資格審査を受ける必要があります。個別入学資格審査を希望する者は、出願期間開始日の14日前までに必要な手続きをとってください。

[募集定員]

入学区分	募集定員
正科生	300名
科目等履修生	若干名

[入学資格等]

正科生の入学資格は、文部科学省が示す大学入学資格(25ページ参照)のいずれかを有する方、および入学時期までに有する見込みの方。
科目等履修生の出願資格は、正科生の入学資格に準ずる。

[出願日程]

■ 正科生

入学時期	WEB 出願(受付)期間	出願書類提出期間【消印有効】	選考結果発表日	入学手続締切日【消印有効】
春学期 2027年4月	2026年9月1日(火) ～ 2027年3月31日(水)	I 期 2026年9月1日(火) ～ 9月30日(水)	10月9日(金)	10月26日(月)
		II 期 2026年10月1日(木) ～ 11月16日(月)	11月27日(金)	12月14日(月)
		III 期 2026年11月17日(火) ～ 12月14日(月)	12月25日(金)	1月12日(火)
		IV 期 2026年12月15日(火) ～ 2027年1月18日(月)	1月29日(金)	2月15日(月)
		V 期 2027年1月19日(火) ～ 2月24日(水)	3月9日(火)	3月19日(金)
		VI 期 2027年2月25日(木) ～ 3月31日(水)	4月6日(火)	4月14日(水)

*出願書類提出期間ごとの募集定員は定めておりません。

■ 科目等履修生

入学時期	WEB 出願(受付)期間	出願書類提出期間【消印有効】	選考結果発表日	手続締切日【消印有効】
2027年度春学期 2027年4月	2027年1月19日(火) ～ 2027年3月31日(水)	2027年1月19日(火) ～ 3月31日(水)	4月6日(火)	4月14日(水)
2027年度秋学期 2027年10月	2027年8月6日(金) ～ 9月6日(月)	2027年8月6日(金) ～ 9月6日(月)	9月17日(金)	9月29日(水)

[入学者紹介制度のご案内]

» 制度概要

■ 本学の卒業生または在学生から紹介を受けた方が、鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程e-learning courseの正科生として入学された場合、紹介した方と紹介を受けた方の双方に3,000円分のQUOカードを贈呈いたします。

» 利用方法

■ 「入学者紹介制度」利用申請書に必要事項を記入し、出願書類と一緒に提出してください。紹介を受けた方が入学された場合、双方に対してQUOカードを送付いたします。(2027年5月頃送付予定)

詳細・申請書はこちら

» 注意事項

■ 紹介者は、鎌倉女子大学大学院・鎌倉女子大学・鎌倉女子大学短期大学部(通信教育課程を含む)の在学生または卒業生に限ります。なお、紹介を受ける方は、複数の方から紹介を受けることはできません。



[出願方法]

WEB出願

- *通信教育課程ホームページの「Newsお知らせ」にある「WEB出願」のバナーをクリックしてWEB出願サイトから出願登録を行ってください。
- *詳細は33ページ「WEB出願の利用について」を参照してください。

[選考方法]

書類選考

- *出願書類にて入学資格およびアドミッションポリシーとの適合性、思考力、判断力、表現力、主体性等を基準に選考します。

[入学検定料]

10,000円

- *WEB出願登録時に入学検定料を納入していただきます。
- *コンビニエンスストア、クレジットカード、Pay-easy(ペイジー)ATM、Pay-easy(ペイジー)ネットバンキングのいずれかで納入となります。
- 各納入方法については35ページを参照してください。
- *入学検定料の他に納入手数料が必要となります。
- *納入された入学検定料は、いかなる理由があっても返還いたしません。

[出願書類]

提出書類	留意事項	正科生	科目等履修生
①志願票	WEB出願登録後にサイトからプリンター出力してください。 (詳細は33ページ「WEB 出願の利用について」を参照してください。)	○	○
②写真 ※志願票の指定箇所に貼付すること	タテ4cm×ヨコ3cm、上半身・正面・無帽・背景無地のもので3か月以内に撮影したもの。(カラー、白黒どちらでも可)	○	○
③必要証明書類	別表「必要証明書類一覧」(28ページ)にて、該当する証明書を確認し、出身学校から取り寄せてください。	○	○
④入学希望理由書	本学所定用紙 ※正科生志願者のみ提出	○	—
⑤免許・資格取得希望届	本学所定用紙 ※正科生志願者のみ提出 ※記載内容は、選考の基準には含みません。	○	—
⑥志望理由書	本学所定用紙 ※科目等履修生志願者のみ提出	—	○
⑦履修科目届	本学所定用紙 ※科目等履修生志願者のみ提出	—	○

- [留意事項] *本学所定用紙は通信教育課程ホームページからダウンロードの上、プリンター出力してください。
- *出願書類の記入事項は必ず黒ペンまたは黒ボールペンを使用し、志願者本人が日本語で記入してください。
(鉛筆やインクが消えるペンの使用は不可です。)
 - *出願書類はまとめて提出してください。(出願書類に不備があった場合には受付できません。)
 - *一度提出された出願書類は返却できません。
 - *入学者紹介制度を利用する場合は、「入学者紹介制度」利用申請書を併せて提出してください。

[必要証明書類一覧]

出願書類③については、以下の注意事項を確認のうえ、該当する証明書類を準備し、提出してください。

【注意事項（正科生／科目等履修生、共通の留意事項）】

1. 証明書類は、すべて6カ月以内に発行されたものを提出してください。
2. 証明書記載の氏名と現在の氏名が異なる場合は戸籍抄本（「個人事項証明書」可）を提出してください。
3. 2校以上の大学・短期大学を卒業（退学）した方は各校の「成績証明書」「卒業（退学）証明書」が必要です。
4. 大学院を修了されている方、または在籍されていた方は下表の書類の他に修了証明書（または在籍期間証明書）の提出が必要です。
5. 外国人（外国籍）の方は、下表の書類の他に「日本語能力認定書（N2以上）」と「外国人登録原票記載事項証明書」（「住民票の写し」または「住民票記載事項証明書」でも可）の提出が必要です。
6. 海外の諸学校を卒業した方は証明書類に日本語訳を添付してください。

■正科生必要書類（最終学歴別）

提出書類	最終学歴			卒業見込者		高等学校卒業程度 認定試験合格者 （大学入学資格検定試験 合格者含む）
	大学・ 短期大学 卒業生	大学・ 短期大学 退学者	高等学校・ 中等教育学校 卒業生	大学・短大・ 高等専門学校	高等学校・ 中等教育学校	
成績証明書 （修得した全科目の評価と単位の 記載があるもの）	○	○	—	○ （年度途中までの 証明書可）※2	—	—
卒業証明書 （卒業証書のコピー不可）	○	—	—	—	—	—
退学証明書 （在籍期間証明書でも可）	—	○	—	—	—	—
調査書 （卒業証明書と成績証明書でも可）	—	—	○※1	—	○ （年度途中までの 証明書可）※2	—
卒業見込証明書	—	—	—	○	—	—
合格成績証明書 （合格年月日の記載があるもの）	—	—	—	—	—	○
戸籍抄本 （個人事項証明書でも可）	△	△	△	△	△	△
上記の各種証明書記載の氏名と現在の氏名が異なる場合（結婚等により氏名が変わっている方）は 戸籍抄本（「個人事項証明書」可）を提出してください。						

※1：保存年限経過のため、高等学校等にて調査書及び成績証明書が発行されない場合は、その旨をA4用紙に志願者本人が明記し、卒業証明書と併せて提出してください。（様式は任意。高等学校で発行される不発行証明書等の書類でも可）

※2：卒業見込者のうち、年度途中までの証明書を提出された方は、本学への入学後、卒業後に発行される証明書類を再提出していただきます。（入学資格を満たしているかの再審査をするため）

■ 科目等履修生必要書類(履修目的別)

提出書類	履修目的 免許・資格の不足単位を履修 (※1:一部履修不可科目有)	教養・自己研修のための学修として履修	
		(最終学歴) 大学院・大学・ 短期大学卒業者	(最終学歴) 高等学校・ 中等教育学校卒業者
成績証明書(修得した全科目の評価と単位の記載があるもの)	○	○	—
卒業(修了)証明書(卒業証書等のコピー不可)	○	○	—
調査書(卒業証明書と成績証明書でも可)	—	—	○ ※2
戸籍抄本(個人事項証明書でも可)	△	△	△
	上記の各種証明書記載の氏名と現在の氏名が異なる場合(結婚等により氏名が変わっている方)は戸籍抄本(「個人事項証明書」可)を提出してください。		

※1:「教育実習指導」「教育実習」は科目等履修生では受講できません。また、「介護等体験」も科目等履修生では参加できません。これらの科目等の履修を希望する場合には「正科生」として出願してください。

※2: 保存年限経過のため、高等学校等にて調査書及び成績証明書が発行されない場合は、その旨を A4用紙に志願者本人が明記し、卒業証明書と併せて提出してください。(様式は任意。高等学校で発行される不発行証明書等の書類でも可)

[選考結果発表]

選考結果の発表は郵送をもって行います。

- * 合格者には、選考結果発表日に合格通知書および入学手続関係書類を発送します。(簡易書留・速達)
- * 電話等での選考結果に関する問い合わせには応じられません。

[入学手続・学費等]

■ 正科生

- ・ 入学手続書類は、入学手続締切日までに郵送してください。(当日消印有効)
- ・ 入学手続時納入金は入学手続日までに必ず納入してください。所定の期日までに納入されなかった場合は入学が許可されませんので、十分注意してください。
- ・ 入学手続を完了された方には、「入学許可書」を送付します。

学費・その他の納入金

初年度納入金	入学手続時	入学金	30,000円
		授業料	115,000円
		教育環境充実費	17,500円
		入学手続時納入金計	162,500円
	秋学期	授業料	115,000円
		教育環境充実費	17,500円
		秋学期納入金計	132,500円
初年度納入金計		295,000円	
2 年次納入金		271,000円	
総 計		566,000円	

※4月から9月までが春学期、10月から3月までが秋学期となります。授業料、教育環境充実費は1年間で2期に分けて納入していただきます。初年度秋学期以降の学費は、口座振替(自動引落)による納入となります。振替口座の登録方法や振替日等については入学後に別途連絡いたします。

※スクーリング受講料は授業料に含みます。

※学費、その他の納入金には消費税は課税されません。

※同窓会終身会費(6,000円)は卒業年度の秋学期に納入していただきます。

※免許・資格取得に要する課程履修費(1免許・資格につき20,000円)及び免許・資格申請費用、介護等体験参加費、学習上必要とする教材費等については入学後に別途納入していただきます。

※入学に際し、学債、寄付金等は一切徴収いたしません。

■ 科目等履修生

- ・ 手続書類は、手続締切日までに郵送してください。(当日消印有効)
- ・ 科目等履修料は手続日までに必ず納入してください。所定の期日までに納入されなかった場合は履修が許可されませんので、十分注意してください。
- ・ 手続を完了された方には、「履修許可書」を送付します。

履修料・その他の納入金

科目等履修料(1単位につき)	20,000円
----------------	---------

※一度納入された履修料等は、いかなる理由に関わらず返還いたしません。

※科目等履修料、その他の納入金には消費税は課税されません。

※履修目的が「免許・資格の不足単位を修得するため」の方は、免許・資格取得に要する課程履修費(1免許・資格につき20,000円)を別途納入していただきます。

※その他、学習上必要とする教材費等については入学後に別途納入していただきます。

※科目等履修に際し、学債、寄付金等は一切徴収いたしません。

[入学辞退に伴う学費等の返還について]

正科生に限り、入学手続を完了後、諸事情により入学を辞退する場合は入学金を除く入学手続時納入金を返還します。入学辞退の意思が固まった時点で速やかに入試・広報センター(TEL: 0467-44-2117)まで連絡してください。

【返還手続】

- (1) 受付期限 : 2027年4月14日(水) 12:00まで
- (2) 返還手続書類 : 入学手続金返金願・入学辞退願(本学所定用紙)
- (3) 返還方法 : 入学辞退届受領後、おおむね20日以内に入学手続時納入金のうち入学金を除く金額を指定の口座へ振込みます。

〔募集にあたっての留意事項〕

≫ 二重学籍の禁止

以下の事項に該当する方は、正科生として入学できません。

- 「学校教育法」第1条に定める高等専門学校、短期大学(専攻科含む)、大学、大学院(休学中含む)に在籍している方。

≫ 受講環境

- メディア授業、単位認定試験には、鎌倉女子大学ポータルサイト(LMS)、Zoom(WEB会議システム)を利用します。
受講には、インターネット環境とカメラ付きのPC(もしくはタブレット、スマートフォン)が必要となります。

≫ 障害学生支援

- 本学では、障害を理由に修学を断念することのないよう、すべての学生に公平な機会を確保していきます。但し、希望する支援内容によっては対応が難しい場合もありますので、必ず2026年10月1日(木)～2027年1月29日(金)の出願前にe-Learning Center(E-MAIL: info.e-LC@kamakura-u.ac.jp)へご相談ください。

≫ 国外在住者の出願

- 保証人が日本国内在住者であることを条件とします。本学からの郵便物の受取り等は全て保証人を通じて行っていただきます。
- 出願者本人は本学からの電話連絡にも確実に応対できるようにしてください。(電話連絡時間は日本時間の日中に行います。)

≫ 外国籍の方の出願

- メディア授業、単位認定試験、スクーリング等の学修活動は全て日本語での開講となるため、日本語能力試験N2以上に合格していることが条件となります。
- 出願に際しては、「日本語能力認定書(N2以上)」と「外国人登録原票記載事項証明書」(「住民票の写し」または「住民票記載事項証明書」でも可)の提出が必要です。なお、証明書の中で在留資格が無記入の場合は「外国人登録証」を提出していただくことになります。
- 本学への入学・在籍・科目等履修により就学ビザの発行を受けることや就学ビザの更新はできません。

≫ 正科生の修学年限と在学期間

- 正科生の修業年限は2年です。ただし、修業年限を過ぎても卒業に必要な単位が充足できなかった場合には引き続き在学できますが、修業年限を含み4年を超えて在学することはできません。

≫ 正科生の既修得単位認定について

- 本学への入学前に他の大学、短期大学などにおいて修得した授業科目の単位は、教育上有益と判断した場合に限り、本学における授業科目の履修によって修得したものとみなすことができます。ただし、この単位認定の上限は30単位までとします。
- 既修得単位の認定は、入学許可後に申請が必要です。なお、申請時には単位認定を希望する科目の内容を示すシラバス等の提出が必要となります。

≫ 科目等履修生の在籍期間と履修単位数

- 科目等履修生の在籍期間は原則、1年間です。この期間を超えて引き続き在籍する場合は、所定の手続きが必要となります。
- 1年間に修得できる単位の上限は20単位です。
- 科目に対する単位を分割して修得することはできません。(例: 2単位の科目を1単位ずつ修得することは不可)

≫ 教員免許状取得にあたって

教員免許状を取得するうえで次の条項等に該当する方は、免許状が授与されません。

■ 教育職員免許法第5条第1項第3号から第6号までの規定に該当する者

第3号 禁固以上の刑に処せられた者

第4号 第10条第1項第2号又は第3号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該失効の日から3年を経過しない者

第5号 第11条第1項から第3項までの規定により免許状取上げの処分を受け、当該処分の日から3年を経過しない者

第6号 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

■ 教育職員等による児童生徒性暴力等に関する法律第22条の該当者

(特定免許状失効者等に対する教育職員免許法の特例)

第22条 特定免許状失効者等（教育職員免許法第五条第一項各号のいずれかに該当する者を除く。）については、その免許状の失効又は取上げの原因となった児童生徒性暴力等の内容を踏まえ、当該特定免許状失効者等の改善更生の状況その他その後の事情により再び免許状を授与するのが適当であると認められる場合に限り、再び免許状を授与することができる。

2 都道府県の教育委員会は、前項の規定により再び免許状を授与するに当たっては、あらかじめ、都道府県教育職員免許状再授与審査会の意見を聴かなければならない。

3 都道府県の教育委員会は、教育職員免許法第十条第二項（同法第十一条第五項において準用する場合を含む。）の規定により特定免許状失効者等から失効した免許状の返納を受けることとなった都道府県の教育委員会その他の関係機関に対し、当該特定免許状失効者等に係る免許状の失効又は取上げの原因となった児童生徒性暴力等の内容等を調査するために必要な情報の提供を求めることができる。

≫ 「こども性暴力防止法」の施行に伴う留意点

2026年12月25日より、「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」が施行されます。学校や保育所など、こどもに対して教育・保育などを行う事業者には、性暴力を防ぐための取り組みが求められます。教育実習や介護等体験を行う学生についても、実習・体験の前に、性犯罪前科の有無の確認が求められる場合がありますので、留意点をお知らせします。

【実習生・体験学生に関する留意点】

■ 実習計画において、こどもと一対一になることが実習上予定されている、実習期間が相当長期にわたるなど、実習生がこどもに対して支配性、継続性及び閉鎖性を有する実習であると判断された場合、性犯罪前科の有無の確認が必要となる場合があります。なお、性犯罪前科の有無の確認が必要かについて最終的な判断は、実習先の事業者が行います。

■ 性犯罪前科の有無の確認が必要であると判断された場合、実習生本人よりこども家庭庁へ戸籍等の提出が必要となります。

■ 性犯罪前科があると確認された者は、こどもと接する実習はできないこととなります。

■ 実習・体験前に、同意書・誓約書の提出を求められます。

■ 性犯罪前科がある場合、実習ができないことにより、教員免許状の取得ができなくなる可能性があります。

【参考】制度の詳細は、下記 URL をご確認ください。

こども家庭庁HP「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」 <https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety/efforts/koseibouhou>

≫ 個人情報に関する取扱について

個人情報は、選考手続以外に学内資料作成のため、個人を特定しない形で統計的な調査に使用場合があります。

[WEB出願の利用について]

WEB出願登録期限・入学検定料支払い期限・出願書類提出期限

WEB出願サイトで出願登録をただけでは、正式な出願となりません。

出願サイトで出願登録後、入学検定料の納入を完了させ、出願書類を下記提出期限日までに提出することで出願受理となります。

出願書類等に不足や不備が認められた場合、正式な出願が認められないことがありますので、余裕をもって出願してください。

正科生

入学時期	WEB出願登録期限日時	入学検定料支払い期限日時*	出願書類提出期限日【郵送】	
春学期 2027年4月	2027年3月31日(水) 17:00まで	2027年3月31日(水) 17:00まで	I 期	2026年9月30日(水) [消印有効]
			II 期	2026年11月16日(月) [消印有効]
			III 期	2026年12月14日(月) [消印有効]
			IV 期	2027年1月18日(月) [消印有効]
			V 期	2027年2月24日(水) [消印有効]
			VI 期	2027年3月31日(水) [消印有効]

科目等履修生

入学時期	WEB出願登録期限日時	入学検定料支払い期限日時*	出願書類提出期限日
春学期 2027年4月	2027年3月31日(水) 17:00まで	2027年3月31日(水) 17:00まで	2027年3月31日(水) [消印有効]
秋学期 2027年10月	2027年9月6日(月) 17:00まで	2027年9月6日(月) 17:00まで	2027年9月6日(月) [消印有効]

※コンビニエンスストア、Pay-easy(ペイジー)ATMでの支払いの場合、入学検定料の支払い期限は出願登録翌日の23:59までとなります。また、出願登録期限日(最終日)の振込最終時間は17:00までとなりますので注意してください。

WEB出願前の準備

①推奨ブラウザとバージョン

PCブラウザ	■Windows : Microsoft Edge (最新バージョン) Google Chrome (最新バージョン) / Firefox (最新バージョン) ■MacOS : Safari (最新バージョン) ※ブラウザの設定について どのウェブブラウザでも、以下の設定を行ってください。 ・JavaScriptを有効にする。 ・Cookieを有効にする。 ※セキュリティソフトをインストールしている場合、WEB出願が正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。 セキュリティソフトについては、各メーカーのサポートセンターに問い合わせてください。
スマートフォン・タブレット	■Android : 14.0以上 (Android Chrome最新バージョン) ■iOS : 17.0以上 (Safari最新バージョン)
PDF推奨環境	アドビシステムズ社のAdobe Reader(無償)が必要です。 既にAdobe Readerをお持ちの方もバージョンを確認し、最新版にアップデートされることを推奨します。

②プリンター：A4用紙がプリントできる機種を用意してください。

③電子メールアドレス：ユーザー登録の際、メールアドレスの入力が必要です。フリーメール(GmailやYahoo!メールなど)や携帯電話のアドレスで構いませんが、携帯メールの場合はドメイン(@kamakura-u.ac.jp、@postanet.jp)を受信指定してください。出願登録完了時・入学検定料支払い完了時に、登録したメールアドレスに確認メールが自動送信されます。

④写真：36ページを参照してください。

⑤封筒：市販の角2封筒(A4サイズの書類が入る封筒)

WEB出願の手順

STEP 1

アカウントを作成する

通信教育課程ホームページの「Newsお知らせ」にある「WEB出願」のバナーをクリックしてWEB出願サイト「Post@net」にアクセスする。



<https://www.kamakura-u.ac.jp/prospective/webentry>



【アカウント作成】下記手順に従ってアカウントの作成をしてください。

- ①Post@netのログイン画面より「新規登録」ボタンをクリック。
- ②利用規約に同意した後、メールアドレス・パスワードなど必要項目を入力して「登録」ボタンをクリック。
- ③入力したメールアドレス宛に、仮登録メールが届きます。
- ④仮登録メールの受信から60分以内にメール本文のリンクをクリックして登録を完了させてください。
- ⑤ログインの際には、登録したメールアドレスに認証コードが届きますので、入力しログインしてください。

【ログイン】下記手順に従ってログインし、お気に入り学校の登録をしてください。

- ①メールアドレス・パスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックすると、登録したメールアドレスに認証コードが届きますので、入力しログインしてください。
- ②「学校一覧」から「鎌倉女子大学短期大学部 通信教育課程」を検索してください。

STEP 2

出願登録

「出願登録」ボタンをクリックして下記手順により出願登録を行ってください。

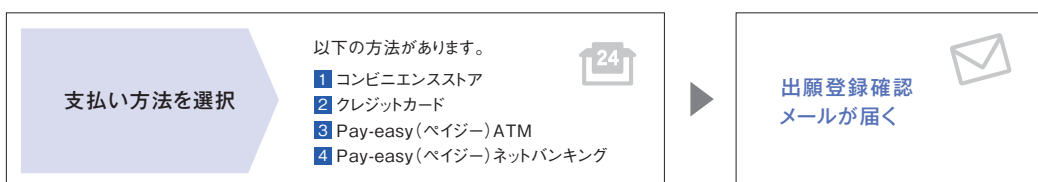


※出願した内容を十分確認してください。

STEP 3

出願登録完了、入学検定料支払いの手続きへ

出願登録完了後、入学検定料の支払い方法を選択してください。



入学検定料

10,000円

- すべての支払い方法に対して入学検定料のほかに、**払込手数料が別途必要**です。
- 出願登録確認メールが届かない場合はPost@netへログインし、「出願内容一覧」画面から出願登録されているかを確認してください。
- 出願した内容およびお支払い方法の画面を印刷しておくことをおすすめします。印刷されない場合は出願登録番号(11桁)を必ずメモしておいてください。
※スマートフォン・タブレットで出願登録をした方は、スクリーンショット等で登録画面を保存しておくことをおすすめします。
- コンビニエンスストア、Pay-easy (ペイジー) ATMをご利用の場合は、お支払方法選択後、入学検定料の支払いに必要な番号が表示されます。必ず番号をメモしてください。入学検定料の支払い期限は**出願登録翌日の23:59**までとなります。出願登録期限日(最終日)の支払い最終時間は**17:00**までとなりますので注意してください。

支払い方法を選択



クレジットカードでの支払い Webで手続き完了

出願情報の入力時に、選択し支払いができます。



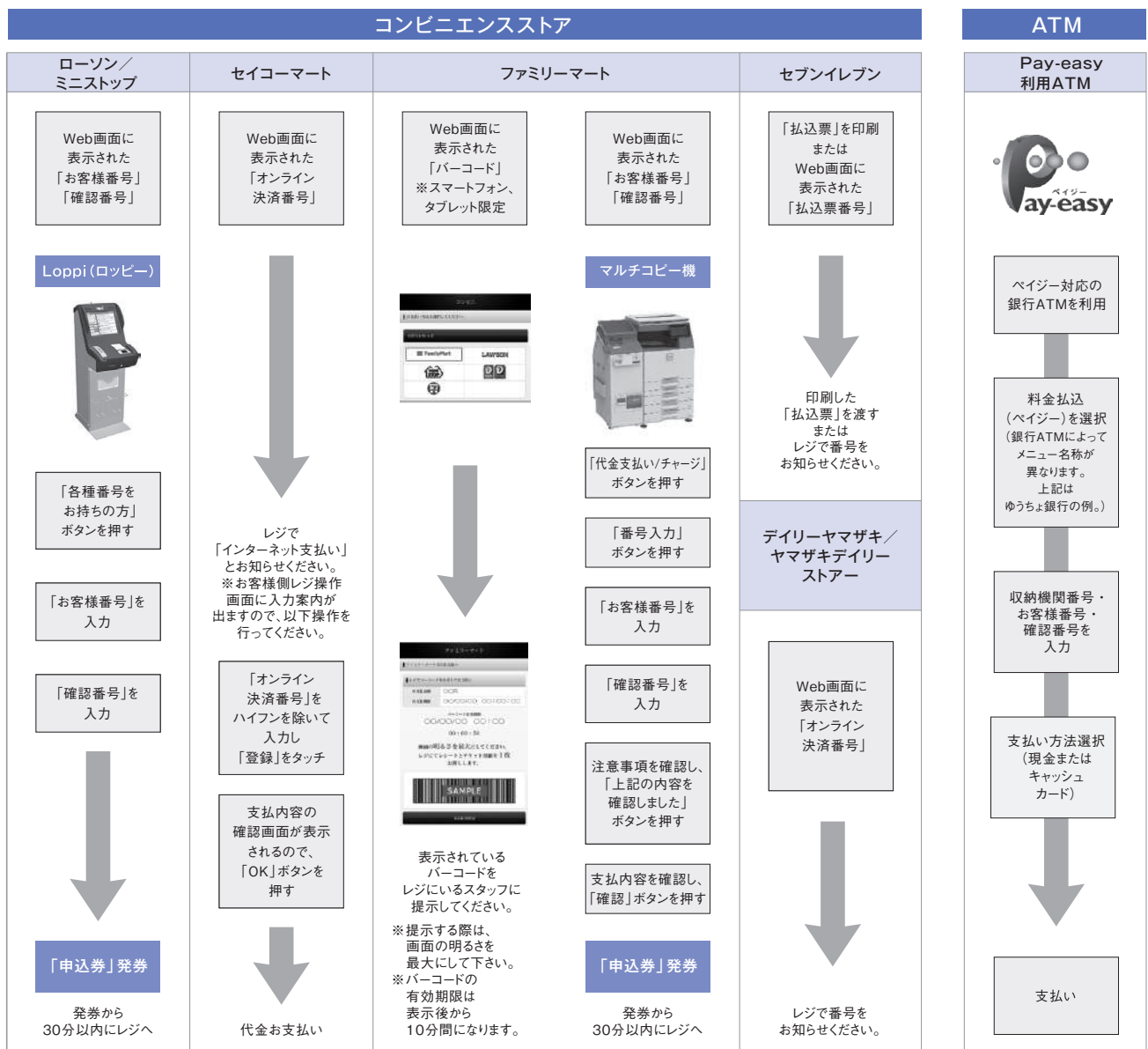
Pay-easy (ペイジー) ネットバンキングでの支払い Webで手続き完了

支払い可能な金融機関一覧より選択し、支払い手順をご確認の上、入学検定料をお支払いください。

※ご利用にはネットバンキングの利用契約が必要です。

コンビニエンスストア・Pay-easy (ペイジー) ATMでの支払い

支払い期限は出願登録翌日の23:59までとなります。(出願登録期末日(最終日)の支払い最終時間は17:00までとなります。)



※上記操作手順は一部省略されています。実際の画面の案内に従って操作してください。

STEP 4

必要書類（「志願票」「封筒貼付用宛名シート」）をプリンターで出力

入学検定料のお支払い後に、登録されたメールアドレスに「WEB出願支払完了」メールが送信されますので、メール内に記載のURLにアクセスして「志願票」と「封筒貼付用宛名シート」を印刷してください。

- メール内のURLよりPost@netへログインし、「出願内容一覧」より「出願内容を確認」を選択し「志願票」、「封筒貼付用宛名シート」のダウンロードボタンをクリックして印刷
- ページの拡大、縮小はなし。A4サイズで印刷

志願票

印刷ボタン

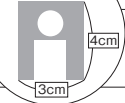
封筒貼付用宛名シート

印刷ボタン



上半身、正面、無帽、背景無地、タテ4cmヨコ3cm、出願前3か月以内に撮影したものを使用。(カラー・白黒どちらでも可)裏面に氏名を記入のうえ、しっかりと糊付けしてください。

写真貼付



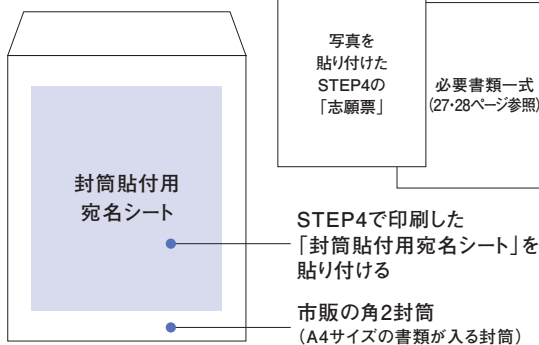
STEP 5

出願書類の提出

出願期間に印刷した「志願票」に顔写真を貼り付け、「必要書類(27・28ページ参照)」を同封して郵便局窓口から郵送してください。

[出願期間]

[封筒]



「封筒貼付用宛名シート」の出力ができない場合は、下記の宛先にお送りください。

出願登録番号(11桁)・郵便番号・住所・氏名を記入して必要書類を以下の送付先に簡易書留・速達で郵送してください。

〒247-8512
神奈川県鎌倉市大船6-1-3
鎌倉女子大学
入試・広報センター 行

出願書類在中

出 願 完 了

※出願書類提出期限日
消印有効

登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を期間内に提出することで出願が完了します。
※出願書類発送時の消印によって「I期」「II期」「III期」「IV期」「V期」「VI期」に振り分け、出願書類提出期間ごとに選考、結果発表を行います。提出時、郵便局の窓口にて発送日(消印)の確認を必ず行ってください。

[WEB出願Q&A]

**自宅にパソコンやプリンターがない場合は出願できませんか？**

できます。自宅以外のパソコンも利用可能です。プリンターがない場合は、一部のコンビニエンスストアにて、メディアリーダーを備えたコピー機があります。お持ちのメディアに印刷が必要なPDFファイルを入れて、コンビニエンスストア店頭へお持ちください。

※やむを得ない事情がある場合は、入試・広報センター(TEL:0467-44-2117)に直接お問い合わせください。

**メールアドレスがない場合はどうしたらいいですか？**

メールアドレスは、携帯電話やフリーメール(Gmail、Yahoo!メールなど)でも構いません。ご登録いただいたアドレスには、出願登録完了、入金完了等の確認のご案内が送信されますので、必ず登録してください。携帯電話のアドレスの場合はドメイン(@kamakura-u.ac.jp、@postanet.jp)を受信設定してください。

**ポップアップがブロックされ画面が表示できません。**

GoogleツールバーやYahoo!ツールバーなどポップアップブロック機能を搭載しているツールバーをインストールしている場合、ポップアップがブロックされ、ポップアップ画面が表示されない場合があります。WEB出願サイトPost@netのポップアップを常に許可するよう設定してください。

**氏名や住所の漢字が登録の際にエラーになってしまいます。**

氏名(日本国籍の方は、戸籍簿に記載されている氏名)や住所などの個人情報を入力する際に、異体字等の漢字が登録エラーになる場合は、代替の漢字(なければカナ)を入力してください。

**登録した個人情報は安全に保護されますか？**

数多くの大学で採用されているWEB出願システムを採用しています。個人情報を保護するセキュリティ面でも実績がありますので、ご安心ください。

**出願登録後に入力内容の誤りに気づいた場合変更できますか？**

入学検定料の支払い前であれば手続きを中止し、Post@netへログインした後から再度出願手続きをしてください。なお、入学検定料支払い後、出願サイトからの変更はできませんので入試・広報センター(TEL:0467-44-2117)までご連絡ください。

**出願登録した後で確認できますか？**

出願登録後、Post@netへログインし「出願内容一覧」から自分が登録した内容を確認できます。

大船キャンパスへのAccess & Map

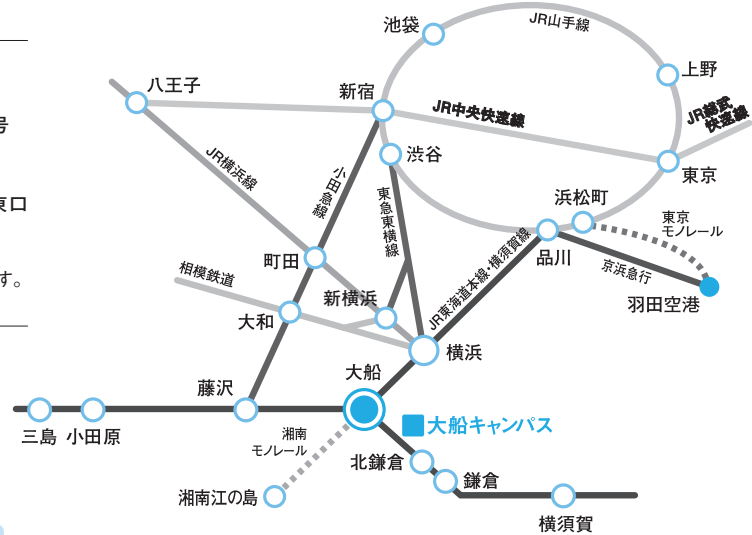
路線図

大船キャンパス

〒247-8512 神奈川県鎌倉市大船六丁目1番3号

JR東海道本線、湘南新宿ライン、横須賀線、
京浜東北・根岸線、湘南モノレール「大船駅」下車東口
または笠間口から徒歩8分

※スクーリング(面接授業)は、大船キャンパスで実施します。



大船駅からのアクセス

鎌倉女子大学
鎌倉女子大学短期大学部
大船キャンパス



オンラインによる
入学説明会・個別相談会を開催します。
興味をお持ちの方、
入学をご検討されている方は
お気軽にご参加ください。



ご予約はこちら

お問い合わせ —————



鎌倉女子大学 e-Learning Center
鎌倉女子大学短期大学部 通信教育課程 (e-learning course)

〒247-8512 神奈川県鎌倉市大船六丁目1番3号 <https://e-learning.kamakura-u.ac.jp>

出願・選考・入学手続に関する問い合わせ先

入試・広報センター TEL: **0467-44-2117** (直通)

履修・教職課程・単位認定に関する問い合わせ先

e-Learning Center E-MAIL: info.e-LC@kamakura-u.ac.jp

通信教育課程 (e-learning course)



ホームページ



YouTube



X

※掲載内容は、2026年4月時点の情報であり、変更になる可能性があります。最新の情報は、
鎌倉女子大学短期大学部 初等教育学科 通信教育課程ホームページに随時掲載予定です。